

# 平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：水環境課  
 担当名：水環境担当  
 内線：3081

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B18	水質監視事業費			一般会計	総務費	環境費	公害対策費	ふるさとの川再生戦略推進費	
事業期間	昭和46年度～	根拠法令	水質汚濁防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、環境基本法		戦略項目	10	みどりと川の再生		
					分野施策	040103	川の再生		
<b>1 事業概要</b> 水質汚濁防止法及びダイオキシン類対策特別措置法の規定により、県内の主要な河川、湖沼及び地下水の水質の汚染状況を監視し、河川等の環境保全を図る。  委託契約における入札差金及び執行の節減に伴う減 (1) 水質測定計画策定費 26千円 (2) 水質測定結果作成費 610千円 (3) 公共用水域水質等測定費 17,564千円 (4) 地下水質分析費 2,323千円 (5) 湖沼水質調査費 840千円 (7) ダイキソ(DXN)類常時監視事業費 283千円 (9) DXN類汚染対策調査費 464千円 (10) 水質環境基準類型指定見直し事業 70千円				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 公共用水域及び地下水の水質の測定に関する計画、ダイオキシン類の常時監視の計画を策定 243千円 イ 公共用水域及び地下水の水質の測定結果、ダイオキシン類の測定結果を公表 429千円 ウ 公共用水域の水質の常時監視 34,597千円 エ 地下水の水質の常時監視 5,552千円 オ 湖沼水質調査費 県内の主要な9湖沼の水質の汚濁状況を調査 676千円 カ 健康項目等追跡調査費 ウの調査において、環境基準を超過する地点があった際の追跡調査 718千円 キ ダイオキシン類の常時監視 2,914千円 ク DXN類追跡調査費 キの調査において、環境基準を調査する地点があった際の追跡調査 328千円 ケ DXN類汚染対策調査費 4,277千円 コ 水質環境基準類型指定見直し事業 198千円 (2) 事業計画 公共用水域及び地下水、ダイオキシン類の常時監視： 策定した水質測定計画に基づいて、水質測定を実施する。結果は、ホームページ等で公表する。 (3) 事業効果 ・公共用水域及び地下水の常時監視 効果：測定結果は、産業系・生活系排水対策、水域類型指定見直し、事業者指導の基礎資料となるほか、環境アセスメント、水利用、地域活動団体等の基礎情報となる。 ・ダイオキシン類の常時監視 効果：環境中にあるダイオキシン類の濃度を把握し、超過地点ではその対策を講じることで、県民の安全・安心を確保することができる。 (4) その他 平成25年3月27日付環境省告示により、環境基準生活環境項目に「直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩」が追加され、年12回測定を実施。 併せて、要監視項目に「4-t-オクチルフェノール」「アニリン」「2,4-ジクロロフェノール」が追加され、年1回測定を実施。 (5) 補正予算の概要 ア 委託料の入札差金発生に伴う減額 19,420千円 イ 執行の節減による減額 2,760千円					
<b>2 事業主体及び負担区分</b> 県(10/10)									
<b>3 地方財政措置の状況</b> 普通交付税(包括算定経費)(区分)企画費 (細目)環境保全対策費 (細節)環境保全対策費 (積算内容)環境の監視調査・測定・分析、公害の規制等									
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 人件費 9,500千円×6.6人=62,700千円									
				財 源 内 訳					
予算額		諸収入						一般財源	補正後の 予算額
決定額	22,180						22,180	49,932	
現計額	72,112	22					72,110		